

— 青山学院大学 —

2月7日 全学部 英語

解答

I

1. ③ 2. ④ 3. ② 4. ② 5. ①
6. ④ 7. ① 8. ② 9. ③ 10. ①

II

11. ④ 12. ② 13. ① 14. ① 15. ③
16. ② 17. ① 18. ④ 19. ② 20. ③

III

21. ⑥ 22. ⑤ 23. ① 24. ② 25. ③
26. ⑤ 27. ① 28. ④ 29. ② 30. ⑥

IV

31. ② 32. ② 33. ④ 34. ③ 35. ②
36. ② 37. ③ 38. ① 39. ④ 40. ③

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

I

1. 第1段落第2文にある「creative という語の意味について全会一致するような見解はない」という部分から判断できる。
2. 第2段落第2文参照。
3. 第3段落第3文参照。
4. 第4段落第2文以降で「レオナルド・ダ・ヴィンチが人間関係の希薄な生活を送っていた」ということが述べられている。
5. 第5段落後半(3 ページ 4 行目付近)で「どの職業においても創造的になれる可能性がある」と述べられている。
6. 第6段落第2文以降で「子を持つ親たちは“creativity”という語で芸術的表現力だけを連想してしまうので、“creative thinking”という言葉を用いる」という趣旨が述べられている。
7. 第7段落第5文(同段落6行目以降)参照。
8. 第8段落第4文「しかしながら、そのような Aha! moment は創造的過程のごく一部でしかない」という部分から判断できる。
9. 第9段落第2文及び最終文参照。
10. 最終段落第11文(最終ページ上から5行目付近)に「励ましと支援が必要である」とある。選択肢3については最終段落第8文で「教育によって creativity を生み出すことはできない。ここで言う教育とは instruction を含む」とある。

II

11. known as ~ 「~として知られている」という過去分詞が挿入されている形。
前置詞 as ~ 「~として」からこの意味になるので、選択肢③also as known のような語順にはしない。正解となるのは選択肢④better known as ~ 「~としてよりよく知られている(~としてより有名な)」である。

13. 空所の後ろには、カンマだけを挟んで2文が続いている。よって、空所に入るのは従属接続詞の類だと判断できる。これに当てはまるのは選択肢①か④のみ。空所に続く2文の意味は、それぞれ「彼女の芸術への関心は若い頃でも傍から見て分かるものであった」と「その頃はそうした趣味に打ち込めるような時間が無かった」となる。2文の関係は「逆接」だと判断できるので、選択肢①を正解とする。
14. 空所の後ろを確認すると **raising a growing family** とある。その形からおおよそ、空所には前置詞か接続詞が入ると判断できる。この条件に当てはまるのは選択肢① **besides** ～ 「～に加えて」のみ。それ以外の選択肢は全て副詞であり、上記の条件に不適。副詞が絶対に当てはまらないというわけではないが、いずれにせよ文意に合わない。
16. まずは **turn to** ～ 「～を始める／本腰を入れる」を知っていたかどうか。 **more and more** 「ますます」を足せば、正解となる。
17. **from this point on** 「(この時)以後」
18. 空所の前の **becoming** に注目すれば、直後に動詞の原形や **Ving** を入れられないと分かる。空所の部分が **be lost to** ～ 「敗れて～の手に落ちる」と読めるかどうかだが、恐らく受験生にとっては辛い要求だっただろう。
19. 空所の後ろの **familiar** に注目すれば、**familiar with** ～ の形を思い出すことは容易だろう。
20. **celebrate** は他動詞であるため、後ろに目的語が必要であるが、空所の後ろに目的語となるような語がないので、受動の形にする必要がある。

III

21. **We'll never (finish on time no matter how) hard we work.**
on time 「時間ぴったりに間に合う」
22. **An employee (whose work includes overseas travel receives) a special bonus.**
23. **I don't know why he (acted as if he were the) boss.**
24. **Who (was it that broke my favorite) vase while I was away?**
強調構文で疑問文が用いられた形。

25. I've been (looking forward to having a chance) to talk to you.
look forward to Ving 「V するのを楽しみにしている」
26. Never have (I seen her behave like that) in public.
否定語句が文頭に来ると倒置が起こり、疑問文の語順となる。
27. His novels (might have become popular had he) had a good...
仮定法過去完了が用いられている文。
条件節で if が省略され、倒置が起きていることに気を付けたい。
28. He never (dreamed that) he (might end up as) a jazz pianist.
end up as ~ 「最後に~になって終わる」
29. Father didn't (want to hear about) my (having missed) the train.
所有格の my が動名詞の意味上の主語として置かれていることに気を付けたい。
30. It (goes without saying that he has) no intension whatsoever of criticizing your book.
It goes without saying that SV 「SV は言うまでもない」

IV

Part I

31. so ~ that... 「とても~なので...」
32. Nor do I 「私も(~でない)」
33. next to ~ 「ほとんど~」
34. with + 独立分詞構文 with your seat belt (being) fastened
35. There is no Ving 「V できない」

Part II

36. Stranger B が最初のセリフで、I just missed it 「見逃した」と言っている。
37. Stranger B が 2 回目のセリフの最後で、But look at the poor old man. Not a scratch on him but he still looks pretty shaken 「でもご覧なさい、あの衰れな老人を。怪我はなかったけど、まだひどく震えていますよ」と言っている。

38. Frederick の3回目のセリフの *don't expect me to bite off more than I can chew* の意味が問われている。分からなくても、直前の *I want to change, but...* 「俺だって変わりたいよ。でも…」から、運動したり食生活を変えたり、つまり、より健康的な生活スタイルに変えるつもりはないのだろうと推理したい。
39. Joanna が最初のセリフで、「(新聞での評判を知った上で)自分で確かめる(味わう)のが待ちきれないわ」と言っている。
40. Terri が3回目のセリフで、*Wait, didn't you fail French? Oh no, if I let you order for me, I'll be looking at snails soon.* 「ちょっと待って。あなた、フランス語の単位落とさなかったっけ？やだっ。あなたに注文を任せたらカタツムリが出てきちゃう」と言っている。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！